

### 避難のポイント

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

**状況により、すばやく避難しましょう**  
 避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

**浸水時、自動車での避難は危険**  
 普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。

**浸水時に長靴は厳禁**  
 避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。また、素足での避難は大変危険です。

**家族には連絡メモを残そう**  
 外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。

**防災メモを持とう**  
 高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。

**集団で助け合おう**  
 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

**持ち出し品は最小限に**  
 非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

**安全なルートで避難**  
 避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

### 水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。また、土砂災害の危険性がある地区では、建物内でも山と反対側に避難を行うことも必要です。



### 浸水後の避難 やむを得ず移動する場合は…

**歩ける深さ**  
 浸水時に歩ける深さは膝くらいまでです。腰まで浸かって歩くと体力を消耗します。また、水深20cm位でも、流れが速い場合は危険を伴うことがあるので注意が必要です。

**足元に注意**  
 浸水により足元が見えにくくなることで、道路と側溝や水路等の区別がつかなくなります。長い棒などで深い場所がないか安全を確認しながら歩きましょう。

### 土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れ・土石流・地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難してください。

土砂災害の種類には、大きく分けて3つのタイプがあります。自分の周りではどのタイプの土砂災害が発生するのか、事前に確認しておきましょう。

<p><b>がけ崩れ</b> (急傾斜地の崩壊)</p>	<p><b>土石流</b></p>	<p><b>地すべり</b></p>
<p>地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。</p>	<p>大雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。崩壊土砂により河川をせき止める場合があります。</p>	<p>大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きだすものをいいます。ゆっくり動き出すため避難が遅れる場合があります。</p>

! こんなときは要注意		土砂災害の前ぶれ(前兆現象)		
前兆現象の種類	がけ崩れ	土石流	地すべり	
山・斜面・がけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がけに割れ目が見える。</li> <li>●がけから小石がパラパラと落ちる。</li> <li>●斜面が盛り上がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●溪流付近の斜面が崩れだす。</li> <li>●落石が生じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地面にひび割れができる。</li> <li>●地面の一部が落ち込んだり盛り上がったたりする。</li> </ul>	
水	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地面に水が流れ出す。</li> <li>●がけから水が噴き出す。</li> <li>●湧水が濁りだす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●川の水が異常に濁る。</li> <li>●雨が降り続けているのに川の水位が下がる。</li> <li>●土砂が流出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●沢や井戸の水が濁る。</li> <li>●斜面から水が噴き出す。</li> <li>●池や沼の水かさが急減する。</li> </ul>	
樹木	<ul style="list-style-type: none"> <li>●樹木が傾く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●濁水に流木が混じりだす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●樹木が傾く。</li> </ul>	
音	<ul style="list-style-type: none"> <li>●樹木の根が切れる音がする。</li> <li>●樹木の揺れる音がする。</li> <li>●地鳴りがする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地鳴りがする。</li> <li>●山鳴りがする。</li> <li>●転石のぶつかり合う音がする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●樹木の根が切れる音がする。</li> </ul>	
におい	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●腐った土のにおいがする。</li> </ul>	—	
その他	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●溪流内に火花が散る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家や擁壁に亀裂が入る。</li> <li>●擁壁や電柱が傾く。</li> </ul>	

※上記は一般的な前ぶれです。すべての場所において必ず土砂災害が起きるというものではありません。

### 土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警報の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、兵庫県と神戸地方気象台が共同で発表する情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら避難情報を発令しますので、土砂災害に厳重に警戒し、安全な場所へ避難してください。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがある場合は、その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら、早めに避難行動をとってください。



### 土砂災害(特別)警戒区域とは

土砂災害防止法に基づく指定区域には、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の2つの区域があります。

<p><b>土砂災害警戒区域(通称イエローゾーン)</b></p> <p>急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域で、警戒避難体制の整備を図ることを目的として指定します。</p>	<p><b>土砂災害特別警戒区域(通称レッドゾーン)</b></p> <p>急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、住宅等の新規立地の抑制等を目的として指定します。</p>
---	--